

第82期

期 末 報 告 書

(平成26年4月1日から)
(平成27年3月31日まで)



中日本興業株式会社

平成27年6月

株主の皆様へ

中日本興業株式会社

代表取締役社長 服部 徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社は第82期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

目 次

事業の概況	2
貸借対照表	5
損益計算書	6
会社の状況	7
「株主ご優待券」について	10
株主メモ	

事業の概況

当事業年度におけるわが国経済は、消費税率引上げ後の個人消費の落ち込みや円安の進行が懸念されましたが、政府の経済政策や雇用環境の改善により景気は緩やかな回復基調にあるものの、世界経済の下振れリスク等の懸念材料があり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと当社では、お客様の感動の創造に努め、サービスの一層の充実を推進することにより、売上の拡大に努め、引き続き経費の適正化も行っていました。

この結果、売上高は31億85百万円、営業利益は1億30百万円、経常利益は1億34百万円、当期純利益は1億3百万円となりました。

また、より一層の効率化を図るため、平成26年9月1日に当社の連結子会社である中日本商事株式会社を吸収合併いたしました。これに伴い連結子会社が存在なくなり、平成27年3月期第2四半期決算より非連結決算へ移行いたしました。

なお、この吸収合併に伴い、中日本商事株式会社が営んでいたリラクゼーション事業とアド事業の4月から8月までの業績は、当事業年度には含まれておりません。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

【シネマ事業】

映画業界では、平成26年の全国入場人員は前年比3.4%増の1億61百万人、興行収入は、6.6%増の2,070億34百万円となり、4年ぶりに2,000億円を超えました。

平成26年3月に公開した「アナと雪の女王」が、全国興行収入歴代3位の254億円超の大ヒットとなるなど、同年4月からの消費税増税の影響はほとんどなく、順調に推移しました。特に、アニメ作品が全国興行収入の上位を占めるなど、アニメの割合がより大きくなりました。

また、スクリーン数は、46スクリーン増加するなど、シネマコンプレックスの飽和状態が続いており、1スクリーンあたりの興行収入は、依然として改善に至っていません。

このような状況のなか当事業では、良質な番組の選定や最適な環境創りを心掛け、また、デジタル化を活かしたODS（映画以外のデジタルコンテンツ）の上映を強化するなど、魅力的かつ効率的な番組編成を行い、お客様のニーズに応えるサービスに努めてまいりました。

なお、「ミッドランドスクエア シネマ」では、平成26年の年間興行収入は5年連続中部地区1位、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」では、年間の動員ならびに興行収入の記録を更新いたしました。

当事業年度は、洋画112作品、邦画107作品、アニメ32作品、ODSが71作品の合わせて、322作品（前期末比27作品増）を公開いたしました。

主な上映作品としましては、洋画では、7月公開の「マレフィセント」、「GODZILLA」、11月公開の「美女と野獣」、邦画では、4月公開の「テルマエ・ロマエⅡ」、8月公開の「ホットロード」、8月・9月に連続公開した「るろうに剣心」の前後編、アニメでは、8月公開の「STAND BY ME ドラえもん」、12月公開の「ベイマックス」、「妖怪ウォッチ 誕生の秘密だニャン!」、ODSでは、「機動戦士ガンダムTHE ORIGIN I 青い瞳のキャスバル」、シネマ歌舞伎「二人藤娘／日本振袖始」などの番組を編成いたしました。

また、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」におきましては、映画の黄金時代の特に優れた傑作娯楽映画を「第二回 新・午前十時の映画祭」として連続上映し、多くの映画ファンに足をお運びいただきました。

この結果、当事業では、売上高は25億46百万円、営業利益は1億34百万円となりました。

【リラクゼーション事業】

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」は、原価、ならびに光熱費の値上がりにより大変厳しい状況の中、メニューの開発や地域に密着したイベントの積極的展開を図り、安定した売上を確保することができました。

温浴部門の名古屋市中川区の「太平温泉 天風の湯」、および愛知県江南市の「松竹温泉 天風の湯」は、近隣企業等への営業活動など販売促進の強化を継続的に実践し、客数を伸ばす施策を積極的に行ってまいりました。

また、「松竹温泉 天風の湯」は、12月に改装工事を行い、子供用露天風呂の新設や施設の修繕等を実施し、施設の魅力アップに努めてまいりました。

しかしながら、当部門では、客単価の低下や光熱費の値上げ、また、近隣に同業他社の店舗がオープンするなど、依然として厳しい状況でありました。

この結果、当事業では、売上高は4億65百万円、営業損失は18百万円となりました。

【アド事業】

当事業は、得意分野の映画宣伝関連やサイン工事に集中特化した積極的な営業展開を図り、より安定的な収益の維持に努めてまいりました。

映画宣伝関連では、提案営業力の強化により、全国規模の業務を受注するなど、業績に大きく貢献いたしました。

他に、定期案件であるコインパーキングなどの看板製作も、施工件数が増加するなど、売上向上に寄与いたしました。

この結果、当事業では、売上高は1億72百万円、営業利益は14百万円となりました。

今後の見通し

今後のわが国経済は、景気は緩やかな回復を続けていくものと予想されますが、個人の消費マインドは、まだまだ改善には至らず、ならびに世界経済の下振れが日本の景気に及ぼす影響のリスク等も懸念され、先行き不透明な状況は依然として続いております。

当社におきましても、厳しい経営環境が続くものと思われませんが、引き続き『感動の創造』をキーワードとする経営をする」という方針のもと、全従業員が一丸となって感動を創造し、お客様目線に立った一層のサービスの充実を図り、感動をお届けできる商品のご提供に努めてまいります。

シネマ事業では、お客様に満足いただけるような番組企画を心掛け、映画鑑賞の環境創りに留意するとともに、お客様に選んでいただける劇場になるように努めてまいります。また、映画キャラクター商品、飲食商品の開発や販売促進にも一層注力し、売上向上に努めてまいります。

第83期の予定作品は、洋画では、7月公開の「アベンジャーズ エイジ・オブ・ウルトロン」、8月公開の「ミッション・インポッシブル ログ・ネイション」、12月公開の「スター・ウォーズ フォースの覚醒」、邦画では、7月公開の「HERO」、8月公開の「進撃の巨人」、12月公開の「母と暮らせば」、アニメでは、7月公開の「バケモノの子」、9月公開の「心が叫びたがっているんだ。」、12月公開の「妖怪ウォッチ2」、ODSでは、6月公開のシネマ歌舞伎「三人吉三」、10月公開の「METライブビューイング」、さらに、「第三回 新・午前十時の映画祭」など、幅広いジャンルの良質な作品を予定しております。

また、名古屋駅前に平成28年6月末に竣工予定の「(仮称) 新・第2豊田ビル」に出店するシネマコンプレックス（7スクリーン、1,100席の予定）につきましては、具体的な設計、運営計画を立案中であります。当社の独自性を打ち出し、名古屋駅前にふさわしい施設となるよう、最新設備、技術の導入についても鋭意研究し、業界の動向にも注視してまいります。さらに、3月末より劇場やホームページにおいて、開業告知CMの上映を開始しており、今後も開業に向けPRも積極的に展開してまいります。

リラクゼーション事業では、競合店舗が多い中、近隣の顧客開発も強化し、引き続き地域密着型の運営を心掛け、店舗独自のイベントの実施やサービスの充実を図り、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいります。また、飲食部門は、4月から「食文化創造室」を設け、今後の展開を視野に置き、より一層の業界のネットワークを構築するとともに、快適空間の創造に努めてまいります。

アド事業では、さらに商材研究と開発を行うことにより、競争力を上げ、積極的な営業展開で商圏の拡大を図ってまいります。得意分野の映画宣伝や関連サイン工事をさらに伸ばし、質の向上とともに、売上の上積みを目指してまいります。

サービス業を営んでいる当社は、より良い商品を提供することにより、お客様に選ばれる施設となるよう、一層の精進をしまっている所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,098,024	流 動 負 債	621,556
現金及び預金	558,114	買掛金	289,199
売掛金	117,565	1年内返済予定の長期借入金	131,196
有価証券	310,247	リース債務	55,406
商品	6,533	未払法人税等	5,649
前払費用	23,194	未払消費税等	30,407
預け金	71,365	未払費用	53,431
繰延税金資産	7,678	賞与引当金	14,814
その他	4,146	その他	41,451
貸倒引当金	△823		
固 定 資 産	3,894,298	固 定 負 債	643,026
有 形 固 定 資 産	(2,838,374)	長期借入金	87,896
建物	1,868,359	リース債務	126,788
構築物	62,668	退職給付引当金	65,884
機械装置	181,313	長期未払金	40,000
車両運搬具	782	資産除去債務	53,806
器具備品	50,436	受入保証金	215,868
土地	669,168	繰延税金負債	52,782
建設仮勘定	5,644		
無 形 固 定 資 産	(95,788)	負 債 合 計	1,264,582
電話加入権	1,147	純 資 産 の 部	
ソフトウェア	94,640	株 主 資 本	3,564,640
投資その他の資産	(960,135)	資本金	(270,000)
投資有価証券	323,334	資本剰余金	(13)
差入保証金	632,310	資本準備金	13
長期前払費用	4,490	利益剰余金	(3,361,150)
		利益準備金	67,500
		その他利益剰余金	3,293,650
		配当準備積立金	377,847
		別途積立金	2,380,000
		繰越利益剰余金	535,802
		自 己 株 式	(△66,523)
		評価・換算差額等	163,098
		その他有価証券評価差額金	(163,098)
資 産 合 計	4,992,322	純 資 産 合 計	3,727,739
		負 債 純 資 産 合 計	4,992,322

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		3,185,267
売 上 原 価		1,614,031
売 上 総 利 益		1,571,235
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,440,864
営 業 利 益		130,370
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	5,737	
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	1,084	
雑 収 入	5,550	12,372
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	5,164	
雑 損 失	3,279	8,443
経 常 利 益		134,299
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	2,207	
抱 合 せ 株 式 償 却 差 損	3,455	5,663
税 引 前 当 期 純 利 益		128,636
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	14,828	
法 人 税 等 調 整 額	10,136	24,965
当 期 純 利 益		103,671

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 状 況

■ 会社概要 (平成27年3月31日現在)

商 号 中日本興業株式会社 Nakanihon KOGYO. CO. Ltd.
本 社 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号
設 立 昭和29年7月23日
資 本 金 2億7,000万円
従業員数 53名

■ 主要な事業所 (平成27年3月31日現在)

・シネマ事業

<劇 場>

ピカデリー (2) 名古屋市中村区
ミッドランドシネマ 名古屋空港 (12) 愛知県西春日井郡豊山町
ミッドランドスクエア シネマ (7) 名古屋市中村区

(注) 1. () 内の数は、スクリーン数です。
2. 「ミッドランドスクエア シネマ」は、当社と株式会社松竹マルチプレックスシアターズ(東京都中央区)との共同事業体が運営する劇場です。

・リラクゼーション事業

<飲 食 店>

覚王山カフェ Ji.Coo. 名古屋市中村区

<浴場施設>

太平温泉 天風の湯 名古屋市中川区
松竹温泉 天風の湯 愛知県江南市

・アド事業

<展示装飾および看板の製作、広告代理店>

中日本エージェンシー 名古屋市中村区

■ 役員（平成27年6月25日現在）

代表取締役社長	服部 徹	
常務取締役	原田 克己	感動創造本部本部長
取締役	三田 則男	感動創造支援本部本部長、 経営企画部上席部長、経理部上席部長
取締役	山口 千秋	（社外取締役）
取締役	大谷 信義	（社外取締役）
常勤監査役	佐藤 桂一	
監査役	新井 紀夫	（社外監査役）
監査役	岡本 安史	（社外監査役）
執行役員	貴田 吉晴	感動創造支援本部副本部長、 経営企画部部長、総務部部長
執行役員	小塚 康	感動創造本部副本部長、興行部部長

ホームページのご案内

当社のホームページにて、事業内容、サービス案内、決算情報等に関する詳しい情報がご覧いただけます。

<http://www.nakanihonkogyo.co.jp/>

中日本興業 検索

■ 株式の状況（平成27年3月31日現在）

発行可能株式総数	2,000,000株
発行済株式の総数	531,177株（自己株式8,823株を除く）
株主数	2,819名（前期末比10名増）

■ 大株主（平成27年3月31日現在）

株 主 名	持 株 数	持株比率
東 和 不 動 産 株 式 会 社	40,000株	7.53%
ト ヨ タ 自 動 車 株 式 会 社	30,000株	5.64%
松 竹 株 式 会 社	20,000株	3.76%
岡 本 藤 太	7,400株	1.39%
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	5,400株	1.01%
服 部 徹	5,200株	0.97%
服 部 清 純	4,500株	0.84%
廣 野 純 弘	4,392株	0.82%
濱 谷 亘 匠	4,300株	0.80%
服 部 純 子	4,000株	0.75%

（注）持株比率は自己株式(8,823株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況（平成27年3月31日現在）

所 有 者	株 式 数	比 率
金 融 機 関	5,400株	1.00%
金 融 商 品 取 引 業 者	357株	0.07%
そ の 他 の 法 人	101,900株	18.87%
外 国 法 人 等	0株	0.00%
個 人 ・ そ の 他	423,520株	78.43%
自 己 名 義 株 式	8,823株	1.63%
計	540,000株	100.00%

「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末現在の株主の皆様には、8、9、10月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」および11、12、翌年1月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、決議ご通知に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

9月末現在の株主の皆様には、2、3、4月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」および5、6、7月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

100株以上	5枚（使用期間三ヶ月）	半期	10枚
200株以上	10枚（使用期間三ヶ月）	半期	20枚
300株以上	15枚（使用期間三ヶ月）	半期	30枚
400株以上	20枚（使用期間三ヶ月）	半期	40枚
500株以上	25枚（使用期間三ヶ月）	半期	50枚
1,000株以上	40枚（使用期間三ヶ月）	半期	80枚
2,000株以上	50枚（使用期間三ヶ月）	半期	100枚
4,000株以上	75枚（使用期間三ヶ月）	半期	150枚

ご利用要領

- 「株主ご優待券」を下記映画館にてご利用の場合、無料入場券としてご利用できます。（1枚で1名様有効）

映画館	住所・電話番号
ピカデリー	名古屋市中村区名駅4-9-8 センチュリー豊田ビル2F (052) 551-5461
ミッドランドシネマ 名古屋空港	愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋内 (0568) 39-3911
ミッドランドスクエア シネマ	名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5F (052) 527-8808

※3D映画については、「ピカデリー」・「ミッドランドシネマ 名古屋空港」でのみ3D鑑賞料金（400円）をご負担のうえ、ご利用可。
（ミッドランドスクエア シネマは、ご利用不可。）

- 「株主ご優待券」を下記スーパー銭湯にてご利用の場合、「株主ご優待券」1枚と下記両店共通の「全日ご招待券」3枚を、各店の受付にて交換いたします。（「全日ご招待券」の有効期限は、交換日の翌月末日となります。）

スーパー銭湯	住所・電話番号
太平温泉 天風の湯	名古屋市中川区平戸町2-1-10 (052) 355-4126
松竹温泉 天風の湯	愛知県江南市前飛保町栄378-15 (0587) 53-4126

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関 同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載新聞	中部経済新聞
上場取引所	名古屋証券取引所 第二部 (証券コード: 9643)
インターネットアドレス	http://www.nakanihonkogyo.co.jp/

単元未満株式の買取、住所変更等、 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされており、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-244-479 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>